

5つの基本目標に基づく主な取り組み

基本目標1 | 支え合い、生き生きと暮らせるまち

■帯状疱疹ワクチン接種への対応

本年4月から定期接種化が予定されている帯状疱疹ワクチンについて、関係機関との連携や市民への周知により、希望される人への接種を円滑に実施します。

■特別養護老人ホームへの支援(200万円)

低所得の高齢者で、重度の要介護認定を受ける、在宅での介護が困難な人工透析患者を受け入れる特別養護老人ホームを支援します。

■人工透析患者通院交通費の助成(1,219万円)

血液透析療法を受ける人の経済的負担を軽減するため、通院に要する交通費への助成額を増額します。

■民生委員・児童委員の活動費の増額(2,658万円)

地域住民の身近な相談相手である民生委員・児童委員の活動費を増額します。



基本目標2 | 安心安全、快適で開かれたまち

■防災行政情報伝達システムの整備(16億3,649万円)

災害対応に資する情報収集や情報発信の迅速化を推進します。

■通話録音装置の無償貸与(254万円)

特殊詐欺被害を防止するため、高齢者のみ世帯への通話録音装置の無償貸与について、日中に同居家族が不在となる高齢者を対象に追加します。



■高校生等への通学定期券購入費の補助(1,320万円)

高校生などの通学に係る経済的負担の軽減や、市内公共交通の利用促進と活性化を図るため、通学定期券の購入に対する助成制度を創設します。

■まちなか居住推進地区における狭あい道路の拡幅(421万円)

土地利用の課題である幅の狭い道路について、新たな手法による拡幅事業に着手します。

■住宅リフォーム工事への支援(7,000万円)

市民の居住環境の向上と市内経済の活性化を図るとともに、木造住宅の連たん火災への対応や、子育て・若者夫婦世帯に対する支援の観点を加えて内容を見直します。

■公共施設照明のLED化(6億8,331万円)

省エネや二酸化炭素排出量削減を図るため、公共施設の照明のLED化を推進します。

基本目標3 | 誰もが活躍できるまち

■海外友好都市 韓国・浦項市との交流(394万円)

浦項国際花火祭りに合わせて市内の茶道団体を派遣するとともに、高校生のホームステイ交流を相互に実施し、市民レベルの交流を促進します。

■被爆ピアノ平和祈念コンサートの開催(199万円)

「非核平和友好都市」の宣言から30周年の節目を迎えることから、広島市の被爆ピアノによるコンサートを開催します。

■定住支援コーディネーターの配置(172万円)

人口減少傾向の緩和を図り、持続可能な地域づくりを進めるため、新たに移住者の定住を支援するコーディネーターを大島区などに配置します。

■「地域独自の予算」の実施(1億2,431万円)

地域の団体などや地域協議会と、総合事務所などが、共に創意工夫を重ねながら地域の実情に合った課題解決や活力向上の取り組みを推進します。



上越自転車まつり(板倉区)

令和7年度

当初予算

■問合せ…総合政策課、財政課(☎025-526-5111)



令和7年度当初予算では、市民の皆さんの暮らしの安心・安全の確保を最優先に「地域の医療体制の確保」と「災害に強いまちづくり」を進めるとともに、市民の生活の質を高め、若者が帰ってきたくなくなるような「暮らしやすく、希望あふれるまち上越」の実現に向けた取り組みを、第7次総合計画(5つの基本目標)に基づいて着実に推進していきます。

※令和7年度予算は、令和7年第2回(3月)上越市議会定例会での議決をもって成立します。



地域の医療体制の確保

■上越地域医療センター病院の経営改善(1,036万円)

安定的な病院運営を維持できるよう、病院の経営分析と収支改善に向けた取り組みを実施します。

■上越地域医療センター病院の改修等(5億7,748万円)

- 新潟労災病院の歯科口腔外科および回復期リハビリテーション機能の一部を移行するための改修事業を実施します。
- 院内環境の整備として、空調設備の更新、ネットワーク環境の強化などを実施します。



■公的病院への運営支援(1億8,382万円)

長引く物価高騰などの影響により、極めて厳しい経営状況にあることを踏まえ、厚生連上越総合病院への支援を強化します。

■上越看護専門学校への運営支援(224万円)

地域医療を支える看護師を確保するため、新たに上越看護専門学校への支援を実施します。

災害に強いまちづくり

■原子力防災の取組(782万円) ※3月補正含む

- 国や県、関係市町村などと連携し、複合災害時の対応力や、より実効性の高い避難体制の確立に努めるとともに、原子力防災訓練や各種啓発活動を実施します。
- 柏崎刈羽原子力発電所から30km圏内に立地し、災害が発生した際に孤立するおそれがある避難所に備蓄物資を追加配備します。

■避難所の環境向上(4,997万円) ※3月補正含む

避難所における良好な環境の確保に資する、トイレカーや簡易ベッドなどを配備します。

■津波避難路の整備(3,264万円)

なおえつ海水浴場における利用者などの安全を確保するため、津波避難路を整備します。

■住宅リフォーム促進事業(連たん家屋防火対策枠)(1,000万円)

連たんしている家屋の防火対策工事を支援します。

■路面下の空洞等調査(1,144万円)

市道の陥没事故を未然に防ぐため、主要路線における路面下の空洞などを調査します。

令和7年度当初予算の概況

一般会計予算

1,025億6,775万円 (前年度比 0.2%増)

市民一人当たりでは56万9,808円(住民基本台帳人口18万4人、令和7年3月1日現在)

実質的な一般会計予算額(※¹)

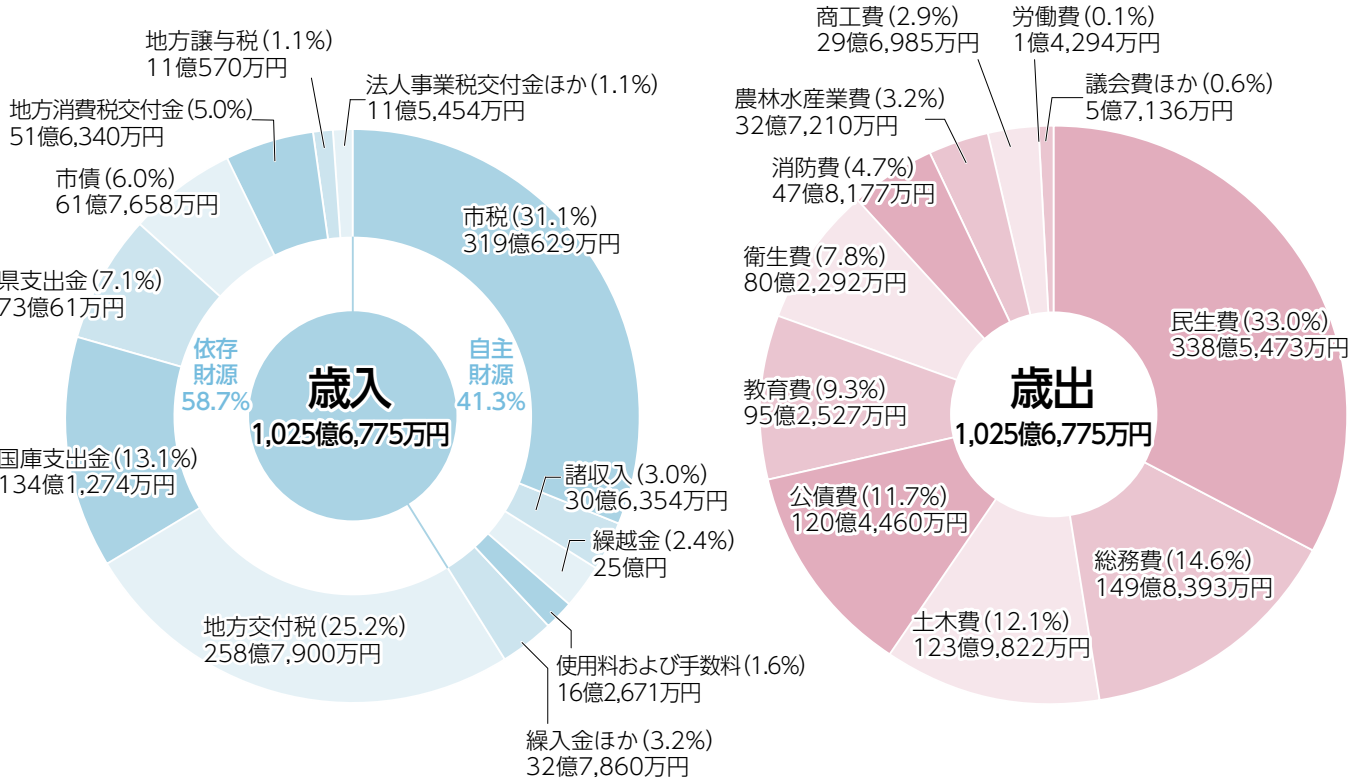
1,012億919万円

(前年度比 2.2%増)

※¹ 制度融資預託金などを除いた額

※端数処理のため、合計と内訳が一致しない場合があります。

令和7年度当初予算の歳入・歳出内訳



財政調整基金残高(市の貯金)の状況

令和5年度末	令和6年度末(見込み)	令和7年度当初(編成時点)
56億4,100万円	22億9,175万円	27億9,322万円

市債残高(市の借金)の状況

区分	令和5年度末	令和6年度末(見込み)	令和7年度当初(見込み)
市債残高の状況	1,055億3,973万円	1,016億8,668万円	961億7,059万円
うち通常分	650億9,280万円	643億5,120万円	624億8,137万円
うち第三セクター等改革推進債を除く	641億4,218万円	637億1,745万円	621億6,450万円

特別会計および事業会計予算※² 922億4,819万円(前年度比 2.1%増)

特別会計名	予算額	前年度比	事業会計名	予算額	前年度比
国民健康保険	161億9,683万円	△0.1%	病院事業	42億2,933万円	25.8%
診療所	3億9,932万円	△2.3%	ガス事業	100億7,723万円	△4.4%
介護保険	242億9,911万円	0.8%	水道事業	124億6,526万円	0.6%
後期高齢者医療	28億4,467万円	2.7%	下水道事業	217億3,641万円	5.8%

※² 市が特定の事業を行う場合、その事業で得られる収入を財源とするため、一般会計とは別に経理を行う会計です。

基本目標4 | 魅力と活力があふれるまち

大潟工業団地の整備(1,052万円)

造成・分譲に向けて、試掘調査を実施するほか、整備事業者を選定するためプロポーザルを実施します。

新たな工業団地の整備(13万円)

新たな工業団地の整備に向けた取り組みを推進します。

クルーズ客船寄港の受入れ(199万円)

本年8月のクルーズ客船の寄港に合わせ、市内消費の促進による地域経済の活性化に資する取り組みを実施します。

通年観光計画の推進(2,668万円)

- 春日山地域＝観光拠点施設の整備効果の検証などを実施します。
- 直江津地域＝直江津屋台会館と海浜公園を活用した観光産業の創出などを目的とした社会実験を継続します。
- 高田地域＝高田城枳形門の再現可能性について調査を継続します。

インバウンド誘客の促進(223万円)

冬期間のスノーレジャーに訪れる訪日外国人の誘客促進に向け、市内の店舗などへ送客する取り組みを実施します。

ふるさと納税の取組推進(14億7,196万円)

農林水産物を始めとしたふるさと納税返礼品のラインナップの充実やPRを強化します。
※寄附金受領目標額＝10億円

棚田米販売促進戦略の実践(116万円)

棚田の持つ価値や魅力をいかした販売促進や、関係人口・交流人口の創出に向けた取り組みを推進します。

上越市産木材の利用推進(380万円)

上越市産木材を活用し、庁舎用備品類を木質化するほか、林業関係者などと連携し、利用推進に向けた調査・研究を実施します。



基本目標5 | 次代を担うひとを育むまち

子どもの居場所づくりの支援(50万円)

子どもへの食事提供や学習支援などの場を新たに開設する地域の団体などに対して費用を助成します。



高校の制服等リユース事業の試行(100万円)

子どもの高校への就学を支援するため、所得の少ない世帯などを対象とした制服などのリユース事業を試行します。

母子健康手帳アプリ「母子モ」の機能拡充(257万円)

スマートフォンなどからオンラインで母子健康手帳の交付予約や必要事項の事前入力、乳幼児健診などの予約ができる体制を整備します。



放課後児童クラブの利用者負担金の軽減(1,277万円)

県が創設する交付金を活用し、利用者負担金を軽減します。

外国にルーツのある中学校生徒への学習支援(119万円)

外国にルーツのある生徒が、将来の夢や希望の実現に向けて学力を伸ばしていくことができるよう、長期休業期間中に学習支援を実施します。

学びの多様化学校の設置準備(1,335万円) ※3月補正含む

閉校する諏訪小学校の校舎を使用した「学びの多様化学校」について教育課程の検討や環境整備を実施します。



上越科学館に新たな展示物を導入(4,070万円)

自然科学に親しみをもち、学びを深めてもらえるよう展示物を新たに導入します。

郷土の偉人顕彰事業交付金(70万円)

前島密生誕190年の記念式典などを開催します。